

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		わくわくエジソン堀江教室		公表日 令和8年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0%	100%	人数が多い場合、机、椅子等を適切に配置する 小さなスペースだが、プライベートスペースを作っている	パーソナルスペースが不十分
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33.30%	66.70%	派遣バイトにて対応	個室などのパーソナルスペースが不十分 指導員の確保
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	玄関先にスロープ できるだけ物を増やさず、整理する	パーソナルスペースを増やす
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	1階なので移動が安全 物品の消毒等や活動に合わせスペースの確保	学習スペースと遊びのスペースの区別を作れたらもっと環境が整うと思う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	66.70%	33.30%	個別スペースを確保し状況に応じて声掛け等 を行い利用する パーティションで個人スペースを作っている	一つしかない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	66.70%	33.30%	会議等にて意見を出し合う 週に一度の教室会議等で話し合いをしている	タイミーさんが多い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	会議等で意見を出し合う 送迎時など保護者との会話を大切にしている	送迎のときくらいしかお話できない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	会話する機会を増やす。会議等で意見を出し合う 毎週の教室会議や、その都度の情報共有をしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33.30%	66.70%	ショートステイや学校の先生とよく話している	第三者による外部評価をしていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	月に一度の全体会議での研修や初級中級上級に分けての研修を行っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	個別支援計画書を頻りにチェックしている 教室会議で話し合っ作っている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	教室会議等で個別支援計画書の内容を職員間で共有し、保護者面談での意向を踏まえて作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	パートも熟読している スタッフ会議等にて共有、検討 教室会議等でみんな話合っ作っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	それる時は他の指導員が指摘している。 都度、話し合いをして対応 個人の意見で支援を行わないようにする	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	その都度、指導員皆で共有し話し合っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	卒業後の進路なども見据えて話している 地域支援や移行支援を考えるようにする	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	プログラムの内容を常に話し合っている 教室イベントやお出かけイベントなどを工夫して取り組む	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	全員で持ち回りで担当している 活動内容を都度検討 同じ指導員に偏らないようにする	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	タイミーさんが多いのでチームとして関われない日もある。 スペースが狭い中、その子に応じた説明が出来るようにする	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	タイミーさんとの会話も増やす。 来所児童の現在の環境等の共有	早く退勤するスタッフもいるので、できない日もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	33.30%	66.70%	終業後は居ていない指導員もいるので翌日に共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	業務日誌は必ず読む 都度、改善努力している 毎日の個々の日報をつけている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	66.70%	33.30%	3ヶ月、6ヶ月と区切りに気を付けてチェックしている	定期的なモニタリング見直しが出来ていない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	曜日ごとに違う内容のプログラムをしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	無理に参加しなくても良い環境を作る 意見、意思確認後の自己決定を促す	急がさず、じっくり待てるようにしていきたい
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	パートも共有できるように心掛ける 担当者会議等への積極的な参加	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	33.30%	66.70%		医療機関と連携できてない利用者もいるかもしれない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校にこちらから確認するときもある 担当者会議等で情報共有	出来ている学校と難しい学校とがある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%		就学前の幼稚園保育所等との情報共有が不十分
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33.30%	66.70%		就労事業所等との関係性が少ない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	66.70%	33.30%	スクールカウンセラーなどとも連携している	出来ている学校もあるが不十分
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33.30%	66.70%	地域の行事にはできるだけ参加できるように調整している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		協議会等の参加は時間的に合わない事が多いので不十分
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	電話や送迎時に会話の時間をとっている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	困り事を確認している	コロナ以降は少ない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	66.70%	33.30%		保護者との時間を設ける様考える
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	66.70%	33.30%		計画書を提示し、その後時間を作れるよう考える
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		保護者との時間を作る
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者の都合がつけばしている 問題があれば対応している	相談等の機会の場面を増やす

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		今後の課題の為、検討 父母の会等の設置がない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	納得して頂くまで根気よく話している 解決策を一緒に考える	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタグラムの活用	インスタグラムを観ていない利用者もいるかも
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	書類など、施錠可能な棚等に厳重に管理している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	できる限り多くの人と話すようにしている 面談、電話でのやりとりが難しい保護者にはメールにて対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	66.70%	33.30%	地域の行事には参加するようにしている 近隣の方とのコミュニケーションを心がけている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0.00%	プログラムにて避難訓練等、防災センター見学、訓練等を継続し行う	家族等への周知が不十分
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	ショートステイや学校とも連携している 防災センターや教室での災害訓練を定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	継続しアセスメント等や保護者様との話で都度確認	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	おやつ等の持参をお願いし、食べる前にお菓子等の確認を保護者としている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	全体会議、教室会議等で確認している	見ようとならない利用者もいるかも
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	周知とは言い難いが、対応している。	出来ている所と出来ていないところがある為、徹底していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ファイルに閉じていつでも読めるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	全体会議、教室会議でその都度話し合っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	書面を作り、保護者の同意を得ている		